

天然痘との闘いの舞台は、九州だ

～新型コロナウイルスに直面する今こそ知りたい日本の天然痘撲滅の歴史～

新型コロナウイルスの流行により、わたしたちの身近なものとなっている感染症。人類が唯一撲滅に成功した感染症が「天然痘」です。天然痘撲滅に貢献したのが「種痘」、つまりワクチンでした。九州における天然痘との闘いの歴史を、種痘を先進的に導入した朝倉市秋月、中津市、そして武雄市の資料を中心に紹介します。

■企画展名

秋月×中津×武雄 特別交流展「伝染病と闘う～種痘の導入と武雄領の医学～」

■会期

令和4年1月29日（土）～2月27日（日） 期間中は無休

※開館時間は日曜日～木曜日は9:00～18:00、金曜日と土曜日は9:00～21:00

■会場

武雄市図書館・歴史資料館 蘭学・企画展示室

〒843-0022 佐賀県武雄市大字武雄 5304 番地 1

■観覧料

無料

■関連イベント

・特別講演 ①人痘から牛痘へー予防接種の夜明けについて

講師：ヴォルフガング・ミヒエル氏（九州大学名誉教授）

日時：2月5日（土）14:00～

②牛痘伝来と佐賀の医師たち

講師：青木歳幸氏（佐賀大学地域学歴史文化研究センター特命教授）

日時2月11日（金・祝）14:00～

会場：武雄市図書館・歴史資料館 メディアホール

定員：各日40名（要事前申込、1月12日より受付開始）

・ギャラリートーク 2月6日（日）、12日（土）、20日（日）

いずれも14時～



▲種痘法則（武雄市蔵）

種痘の普及のために作られた冊子。

子どもに種痘する様子が描かれている。

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武雄市図書館・歴史資料館 歴史資料係 TEL 0954-28-9105